

よて作さるゝ角ハ吹角と訓も顧況ハ聽角
思歸の詩に暮後城頭曉角哀と作さるゝ説
又ハ角長又ハ人形如竹筒中銅末大なりと
あり職物ハ職よて作さるゝ物なり異部職ハ
既約の二字傍訓ともに劔名と訓も槍ハ木
よて作さるゝや文選ハ角槍といふとあり
あり角を以て作ると見へり弱槍ハ弱の
形ハ作り鎗尾槍ハ鎗の尾也とくに作り
るハ槍也へり官舎ハ官人の居宅之延壽式
出羽國正税の条下に既記安金料十力束と

言ありそふハあり所の穀物玄貝亦國司交
際の刻ハ交五渡一ありなりハ焼盜
魁れとふハ免除をせんと見へり

同六月二十八日甲辰出羽國言去元慶二
年百姓爲賊所殺者九十九人請除籍籍帳
民部省勘會籍帳三十人不載帳仍除六十
六人云々

民部省ハこのつりさと訓も省ハ禁の公省
あまなり明憲にいて猥なるとをいふ
なり職系抄曰周禮地官大司寇之職也辨